Liebert GXT
AC Power System

WEB/SNMP Management カード

Liebert GXT-UPS オプションカード
ユーザーズ・マニュアル

GXT-WEBCARD-J

EMERSON Network Power

Revision 01

目次

1. 大切なお知らせ 3
   1.1.安全注意事項 3
   1.2.付属品 3
2. Web/SNMP カードの取付け方法 4
3. Netility による IP 設定/ファームウェア更新 5
   3.1.Netility をインストールする 5
   3.2.Netility を使用する 5
   3.3.ネットワークの選択 5
   3.4.設定画面 6
      3.4.1. Netility の安全管理 6
   3.5.ファームウェアの更新 7
   3.6.Netility バージョン情報の確認 8
   3.7.WEB/SNMP カードの検索 8
4. ClientMate – Windows シャットダウン用ソフトウェア 9
   4.1.ClientMate をインストールする 9
   4.2.ClientMate を使用する 9
   4.3.設定画面 10
      4.3.1. Host Connection 10
      4.3.2. Computer Shutdown 10
   4.4.閉じたファイル 11
   4.5.バージョン情報 11
   4.6.接続用 IP アドレス 12
   4.7.AC 電源の状態 12
   4.8.バッテリの状態およびバッテリ容量 12
   4.9.状態履歴 12
5. 保証約款 13

1. 大切なお知らせ

このたびは、日本エマソンの「WEB/SNMP Management カード for Liebert GXT-J」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本装置を正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。

1.1. 安全注意事項

● この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危険 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる損害を示します。
なお、注意に記載した事項でも、状況によっては危険な結果を招く可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険(製品の用途)

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。
※本機は、パソコンなどのOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。

● 人命に直接関わる医療機器やシステム。
● 人身の安全に直接関連する用途。
● 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。
● 上記に準ずる用途。

＜RoHS 指令について＞
エマソン・ネットワーク・パワー(ミズーリ州セントルイスのエマソン・エレクトリック社の戦略事業単位)は、UPS の環境保全としてバッテリを除き RoHS に準拠しております。これは弊社のグリーン化の一環として継続していくものとなります。

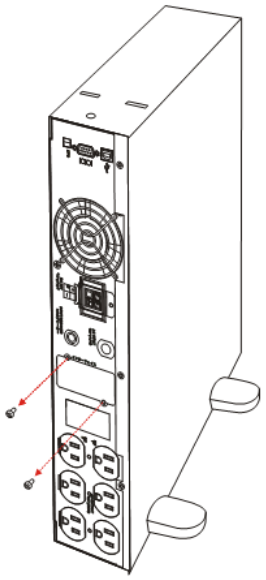
1.2. 付属品

装置を設置する前に、以下のものが揃っているかを確認してください。
万一不足しているものがある場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

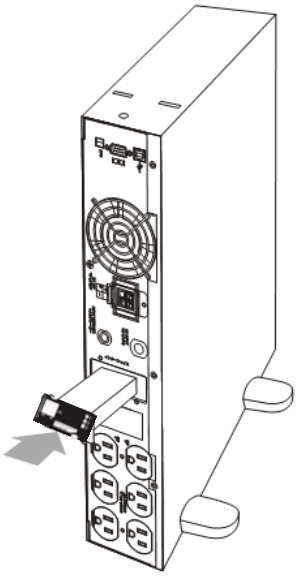
● CD-ROM(ソフト・マニュアル)
● Web / SNMP カード

2. Web/SNMP カードの取付け方法

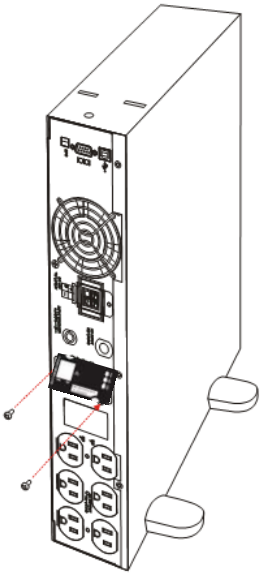
1. UPS のオプショナル・スロットカバーのネジを外し、カバーを取り外してください



2. 次にオプショナル・スロットにオプションカードを挿入してください
   ※　その際 UPS の電源を落とすことなく、取り付けできます（ホットスワップ対応）



3. 最後にオプションカードをネジでしっかりと固定してください



3. Netility による IP 設定/ファームウェア更新

3.1. Netility をインストールする

1. CD-ROM ドライバに付属の CD を挿入して Netility.exe を実行します。
2. インストールが完了すると、Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」から「Netility」が開くことができます。

3. 「Netility」をクリックして起動し、設定用のメイン画面を開きます。

3.2. Netility を使用する

Netility のメイン画面（下図）では、左側に各種メニュー、右側に対象 UPS（Web/SNMP カード）が一覧で表示されます。

図1 Netility メイン画面

3.3. ネットワークの選択

Netility を起動後、Netility に Web/SNMP カード自動的に検索され表示されます。表示されない場合は、メイン画面から「Refresh List」をクリックすると、再検索を行います。IP アドレス未設定時は UPS のシリアル番号と MAC アドレスが表示されます。

＊ 異なるセグメントに接続されている Web/SNMP カードは検出されません

3.4. 設定画面

画面右側で UPS を選択し、「Network Settings」をクリックすると、下図のような設定画面が表示されます。

IP アドレス: UPS の IP アドレスを設定する

初回使用時に IP アドレス、サブネット･マスク、ゲートウェイを設定してください。

･IP アドレス固定で使用したい場合は、Use fallowing Static IP アドレスを選択。

･DHCP を使用して IP アドレスを設定する場合、IP アドレス、サブネット･マスク、ゲートウェイはシステムによって直接取得されます。

設定後、Telnet またはブラウザで IP アドレスを入力し、Web インターフェイスに接続します。

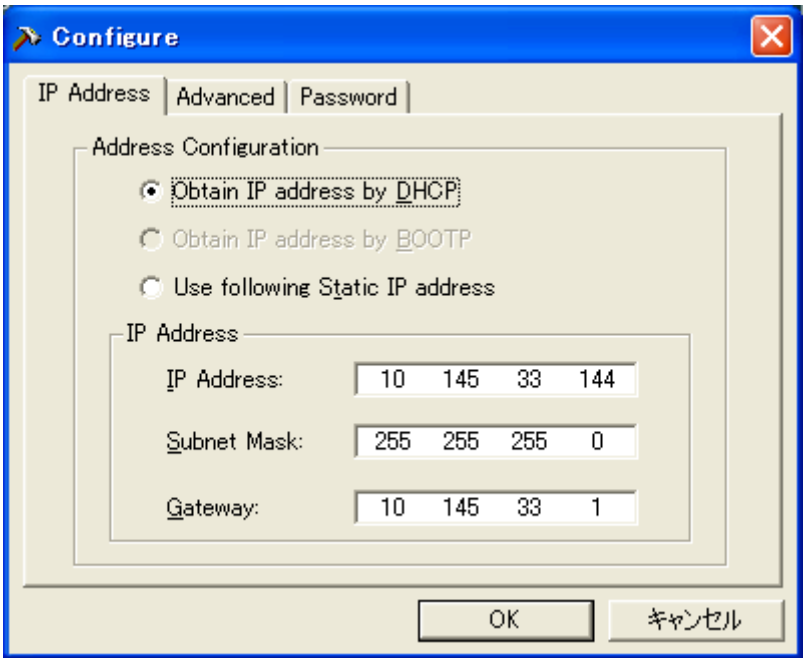


図2 Netility : WEB/SNMP カードの IP アドレスを設定

3.4.1. Netility の安全管理

Netility には以下の 2 つの保護機能があります。

Netility パスワード

パスワード設定を行うと、パスワードなしでは Netility によって WEB/SNMP カードへコマンドを与えることは一切できません。

図3 Netility : パスワードの設定

アドバンスド(ポート設定)

WEB/SNMP カードへのアクセスは HTTP(WEB)と Telnet を使用します。この 2 種類について、管理者はセキュリティの観点から、ポート設定が可能です。

1. デフォルト設定は、HTTP がポート番号 80、Telnet がポート 23 を使用して起動する設定となります。
2. チェックマークを外すと、その機能を使用停止にすることが出来ます。
3. 他のポート番号に設定されていると、IP アドレス全体を入力しないとウェブサイトまたは Telnet にログインできません。

例えば IP アドレスが IP:192.168.0.177 の WEB/SNMP カードの場合

☞ HTTP ポート番号を 81 にすると、アドレス・バーにhttp://192.168.0.177:81 と入力しないとサイトが開きません。

☞ Telnet ポート番号を 24 に設定すると、Telnet で"192.168.0.177 24"と入力しないと、Telnet 画面が開きません。

3.5. ファームウェアの更新

Netility には、ファームウェアを更新する機能があります。ファームウェアを更新する時は、**ファームウェアのダウンロード**を Netility 設定メニューから選択し、「ブラウザ」をクリックして新しいファームウェアのファイル(*.bin)をクリック後、「Download」をクリックします。ファームウェアの更新中は、WEB/SNMP カードの LED が赤と黄で交互に点滅します。アップグレードが完了すると、WEB/SNMP カードは自動的に再起動します。

Note : WEB/SNMP カードには十分に配慮された保護機能が備わっています。更新が中断され不完全なデータを取得すると、WEB/SNMP カードはデフォルトを保存してデータが完全に失われないようにします。この場合、再度ファームウェアの更新を行ってください。

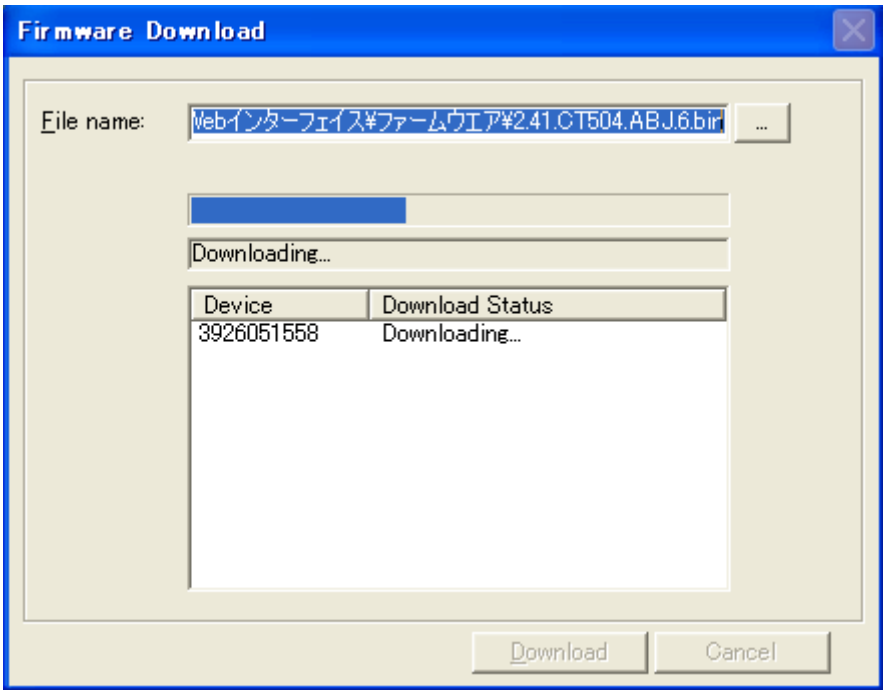


図4 Netility : WEB/SNMP カードファームウェアの更新

3.6. Netility バージョン情報の確認

図5 Netilityバージョン情報の確認

3.7. WEB/SNMP カードの検索

手動でネットワーク上の WEB/SNMP カードを検索

Netility はネットワーク上の WEB/SNMP カードを自動的に検索するほか、下図にあるアイコンをクリックして手動による検索が可能です。

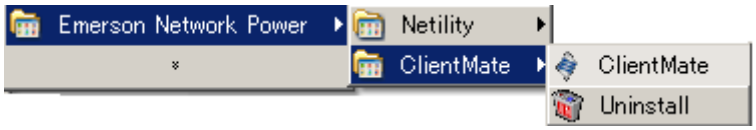
図6 Netility:手動で UPS を検索

4. ClientMate – Windows シャットダウン用ソフトウェア

ClientMate は、WEB/SNMP カードから電源障害信号を受信すると、ファイルを保存してシステムを安全にシャットダウンします。ClientMate は、電源障害、ローバッテリ、WEB/SNMP カードからの信号を検出すると、ファイルを保存してシステムを安全にシャットダウンします。下記の手順を参照してください。

4.1. ClientMate をインストールする

1. 付属の CD を CD ドライブに挿入して ClientMate セットアッププログラムを実行します。
2. インストールが完了すると、Windows の「スタート」から、ClientMate を開くことができます。



3. ClientMate をクリックして起動させます。

4.2. ClientMate を使用する

ClientMate のメイン画面が以下のように表示されます。“Configuration”アイコンをクリックすると設定画面に移ります。画面上側には、UPS の現在の状況が表示されています。

図7 ClientMateメイン画面

4.3. 設定画面

ClientMate は WEB/SNMP カードから AC 電源障害やローバッテリ信号を受信すると、下図にある設定画面で指定した内容に従って、シャットダウン動作を開始します。

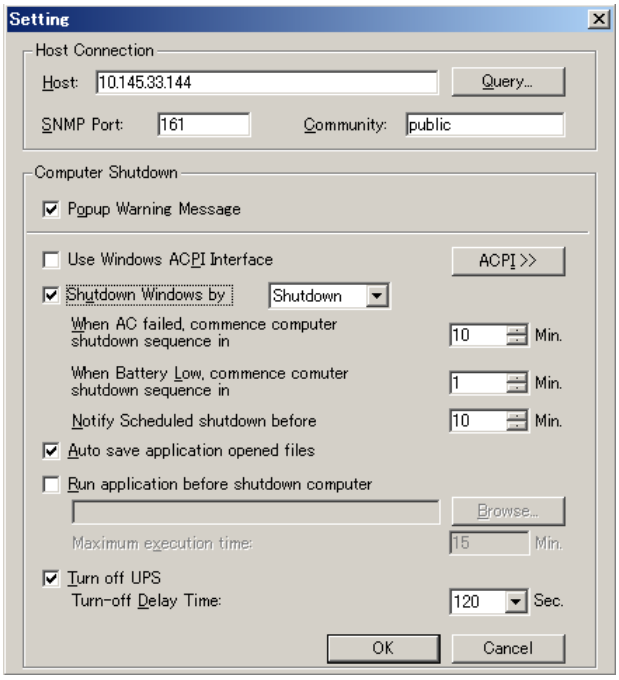


図8 ClientMate: 設定

4.3.1. Host Connection

ホスト接続先の IP アドレスを設定します。

- **Host**

  「Query」をクリックして検索すると、ネットワーク上のホストが自動的に検出されます。

  ホストが別のネットワーク・セグメント上にある場合は、IP アドレスをフィールドに入力してください。

- **Community Name**

  ClientMate が WEB/SNMP カードに接続するためのコミュニティ名を入力します。

  ＊WEB/SNMP カードの SNMP（アクセス・コントロール）設定も行う必要があります。

  - NMS IP アドレス：ClientMate の IP アドレス（ClientMate を含むアドレス、“*.*.*.*”で全アドレス）
  - コミュニティ：ClientMate と共通なコミュニティ名
  - アクセス権：読み込み/書き込み

4.3.2. Computer Shutdown

コンピュータのシャットダウン動作を設定します。

- **Popup Warning Messages**

  ポップアップメッセージを通知するか設定します。

- **Use Windows ACPI Interface**

  Windows 標準サービスを使用する場合はここで設定します。

- **Shutdown Windows**

  停電時に Windows システムをシャットダウンする設定です。

- **When AC failed, commence computer shutdown sequence in xx Min.**

  AC 障害発生からシステム・シャットダウン動作開始までの遅延時間（分）を設定します。

- When Battery Low, commence computer shutdown sequence in xx Min.
  ローバッテリ状態になってからシステム・シャットダウン動作開始までの遅延時間（分）を設定します。
- Notify Scheduled shutdown before xx Min.
  予定されたシャットダウンの何分前に通知するかを設定します。（未使用の機能になります）
- Auto save application opened files
  システム・シャットダウン前にアプリケーション・ファイルを保存する設定です。
- Run application before shutdown computer
  システム・シャットダウン前にアプリケーションやコマンドファイル(バッチ等)を実行する設定です。
- Turn off UPS Turn-off Delay Time xx Sec.
  OS システム・シャットダウン開始後に UPS を OFF にする設定と待機時間です。

4.4. 閉じたファイル

ユーザは、前回のシャットダウン動作で閉じられたファイルをすべて確認できます。設定画面で、アプリケーション・ファイルを自動保存する設定をしてあれば、閉じられたアプリケーションをファイルの詳細は、「Closed Files」の画面で確認できます。

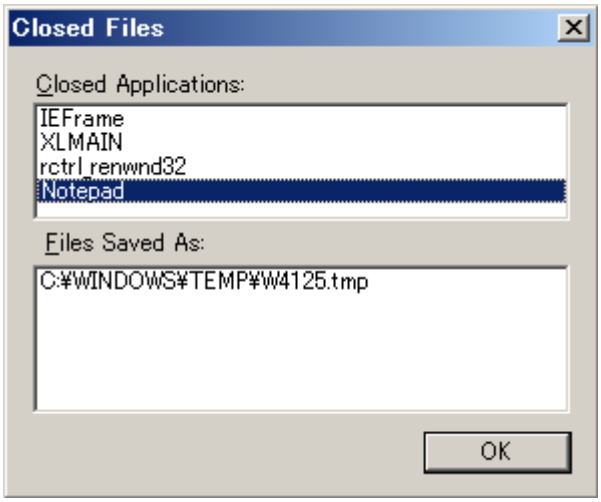


図9 ClientMate: 閉じたファイル

4.5. バージョン情報

「About」をクリックすると、ClientMate のバージョン情報が表示されます。

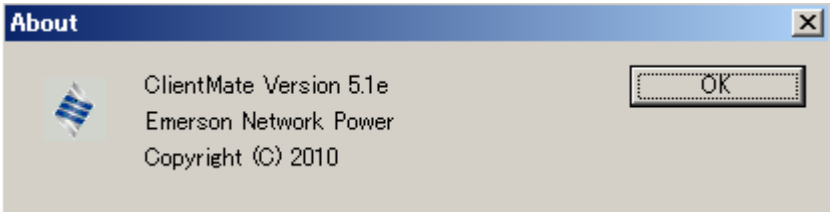


図10 ClientMate:バージョン情報

4.6. 接続用 IP アドレス

ステータス表示アイコン	説明
	IPアドレス 10.145.33.144のUPSに接続しています。
	UPSに未接続です。

4.7. AC 電源の状態

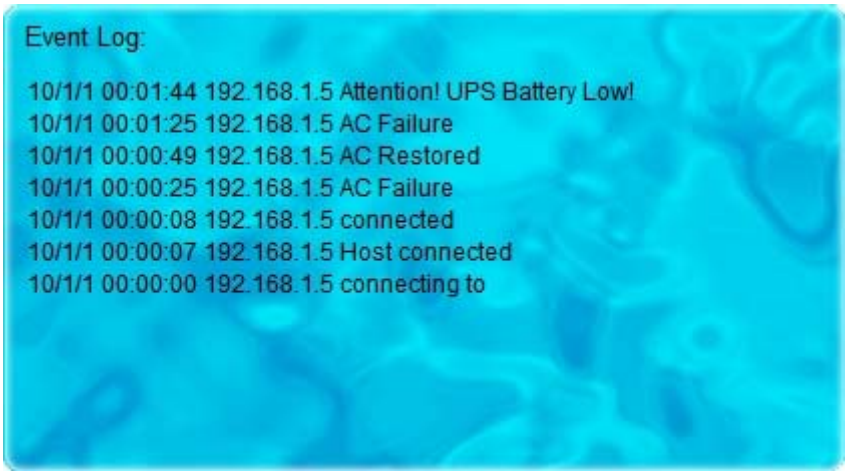
ステータス表示アイコン	説明
	接続しているUPSのAC電源は正常です。
	接続しているUPSのAC電源に障害が発生しています。

4.8. バッテリの状態およびバッテリ容量

ステータス表示アイコン	説明
	接続しているUPSのバッテリは正常です。
	接続しているUPSのバッテリの容量が低くなっています。

4.9. 状態履歴

ClientMate 画面の右下には、直近のイベントログが表示されます。



5. 保証約款

はじめに

保証約款（以下「本約款」）は、取扱い説明書にしたがった正常な使用をしていたにもかかわらず、保証期間内において、製品（付属品等を除く）が故障した場合、本約款に明示した期間、条件の下において、「無償修理または交換」を行うことをお約束するものです。

第1条 定義

本約款で使われる用語の定義は次の各号の通りとします。

① 「製品」とは当社製品として梱包されたものをいい、付属品等は除きます。

② 「故障」とはお客様が取扱説明書の安全注意事項、本体貼付ラベル等の記載事項に基づき正常なご使用状態で、正常に機能しない状態をいいます。

③ 「無償修理または交換」とは製品が保証期間内に故障した場合、当社が無償にて行う製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をいいます。

④ 「有償交換」とは製品が保証期間外に故障した場合、お客様に費用を負担していただいて当社が行う製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をいいます。

第2条 保証期間

保証期間は、購入日より2年間とします。

また、Webからユーザ登録をした方が対象となります。

第3条 保証の範囲

取扱説明書の安全注意事項、本体貼付ラベル等の記載事項に基づき正常なご使用状態で保証期間内に故障した場合、下記内容に従い無償にて製品の交換、または同等機能の製品との代替交換をさせていただきます。無償修理または交換を受ける場合はユーザIDをご提示の上、お買い求めの販売店にご相談下さい。

3-1 保証の範囲は、製品の交換、または同等機能の製品との代替交換に限ります。

3-2 当社の保証範囲は前記（3－1）記載をもって全てとし、故障によってお客様に生じた損害（事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含むが、これらに限定されない）については、法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても当社は一切の責任を負わないものといたします。

第4条 保証の不適用

保証期間内であっても、以下の場合は保証の対象外とさせていただきます。

4-1 使用上の誤り、及び当社の事前承諾なしになされた修理、改造や付加による故障、及び損傷。

4-2 お買い上げ後の落下、取扱いの不注意などによる故障及び損傷。

4-3 火災・地震・風水害・落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、及び通常基準を超える異常な物理的もしくは電気的負荷が加えられたことによる故障及び損傷。

4-4 修理依頼の際、保証書のご提示をいただけない場合。及び以下の各号に該当する場合。

① 保証対象物件の形式・製造番号が修理を行う物件のそれと一致しない場合。

② ユーザ登録カードに、所定記入事項（お買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店名）の記入のない場合、あるいは記載事項が不当な場合。字句を不当に書き換えられた場合。

4-5 消耗部品や、経年劣化により故障したもの。ただし、個別に保証契約を締結するか、または個別に保証の範囲を定めている場合はその個別の契約または定めに従うものとする。

4-6 故障の原因が本製品以外に起因する場合。

第5条 準拠法

本約款の解釈は日本国の法令が適用されるものとします。

第6条 裁判管轄

本約款に関する訴訟の第一審合意管轄裁判所は東京地方裁判所とします。

第7条 有効範囲

本約款は、日本国内にて発生した故障の場合のみ有効とします。